

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2021.07.18)

文：武田、写真：山 國、山田

日時：2021(令和3)年 7月18日(日) 9:30～15:30

気象：晴(26℃)

活動エリア：44林班い、ろ

活動内容：天狗杉付近の自然歩道西斜面の倒木・枯損木処理、水源②の水路保全と周辺倒木処理、
自然歩道(旧道)水切り溝整備 午後は森林づくりの会年次総会

参加者：会員：猪川 誠、石原順子、大本孝子、斧田一陽、小櫃徹夫、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、河野直子、
薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山本國夫

総会出席：内海宏一、阪下幸一 (体験) 中西美香 計 18名

<昨日 梅雨明け>

梅雨期の水害は酷くなるようだ。活動地は砂礫交じりの溪や傾斜地が多く、毎度の強雨にも心配しきりだが、幸い、目につく程の新しい荒れは見られない。とは言え、三年前の台風21号の後始末が未だままで、倒木累々の天狗杉近くを始め、今年度から取り掛かる自然歩道西斜面の整備は手がかかりそう。それを含め、今日の作業は三班編成、天狗杉付近の倒木・枯損木処理に7名、チェーンでの大木処理が必須の水源②の水路保全と倒木処理に4名、自然歩道(旧道)の水切り溝整備に4名。午後は森林づくりの会年次総会(於 本山寺可笑院)

<今日の成果>

天狗杉から南に開いた溪は暴風が駆け上がった場所、倒木は足場が悪いので幹には中々手がつけられぬ。高枝切り鋸を使って枝を落とし、見通しと日照の改善を優先する。恐る々々の作業ながら何とか全部で約200㎡を仕上げる。歩道の頭上を跨いだ倒木箇所には「赤テープ」巻き。水路保全は用材運搬に一苦労。自然歩道(旧道)の溝4本はここ2年は手つかずで、地表面まで30cmは埋っていたもの。全部、底が見える状態に掘り返す。

来年度は当会発足10年目、総会は記念事業で盛り上がる(植樹、記念誌、記念標、などなど)

<写真編①>

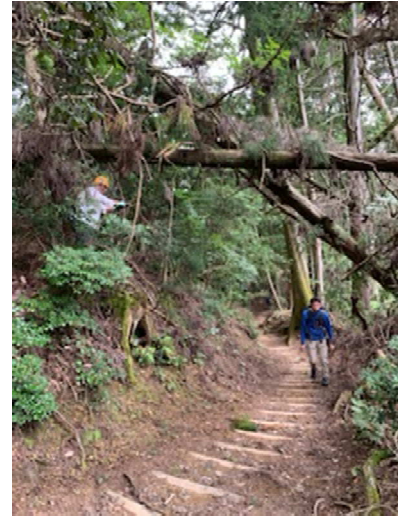


<写真編②>

【手の届かぬ枝切りは高枝切り鋸の出番】



【自然歩道の頭上の倒木は赤テープ巻き】



【斜面での土留めづくりは用材運搬に一苦勞】



【旧道の作業-大きな石が埋まった溝を掘り返す】



【総会開催中】



【郡上八幡から届いたアサギマダラの姿】

